昭和十二年十月十六日　（可部特別便郵便物認可）　第三種郵便物認可　上毛新聞　土曜日　第一萬二千九百六十三號

千人針でまごつき 御神符を眞二つ

愛妻の心盡しが實った奇蹟

正定一番乘りの勇士

【新潟十五日發】去る九日夜北支戰線に於ける千人針の奇蹟が遂ひに戰場に顯現した奇蹟の美談が新潟縣出身の一勇士の手を通じて銃後に傳へられ感激の渦を捲いてゐる

同氏は新潟縣出身の一勇士で去る八月十八日上海戰線に於ける第一線に出動し爾來連日連夜の奮戦を続けてゐたが去る九日夜正定の一番乘りを目指して敵陣に肉迫し敵の機関銃の猛射を浴びて一時は絶体絶命の境に陥ったが同氏の身に常に携帯してゐた千人針の御神符が眞二つに割れ敵の弾丸は同氏の身体を貫通せずに僅かに皮肉を掠めて通過したのみで同氏は直ちに起き上り城壁に倒れたナと思った瞬間もくもくと起き上り城内に飛び込んで行った為に同氏は右腕に受けたのみで命拾いをしたのであるが同氏の身体は右腕を中心として左半身は全部紫色に変色し左ケツの伸び大神宮の護符をニツに割り裂き敵の弾丸は同氏の身体を貫通せずに僅かに皮肉を掠めて通過したのみで命拾いをしたのであるが同氏の身体は右腕を中心として左半身は全部紫色に変色し左ケツの伸び大神宮の護符をニツに割り裂き敵の弾丸は同氏の身体を貫通せずに僅かに皮肉を掠めて通過したのみで命拾いをしたのであるが同氏の身体は右腕を中心として左半身は全部紫色に変色し左ケツの伸び大神宮の護符をニツ抜けて左ポケット